

JX Group Strategy Presentation

世界有数の「総合エネルギー・資源・素材企業グループ」へ

代表取締役社長 高萩光紀

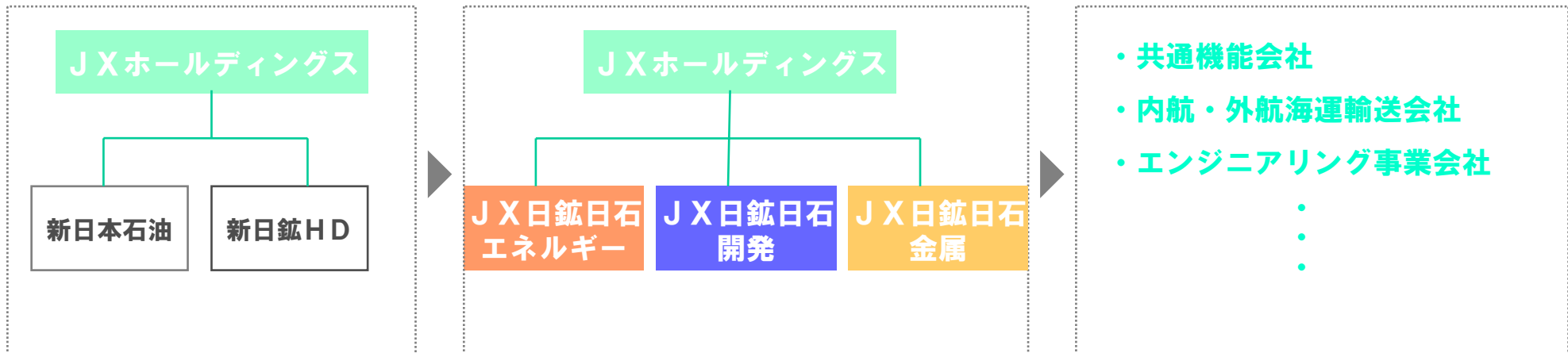
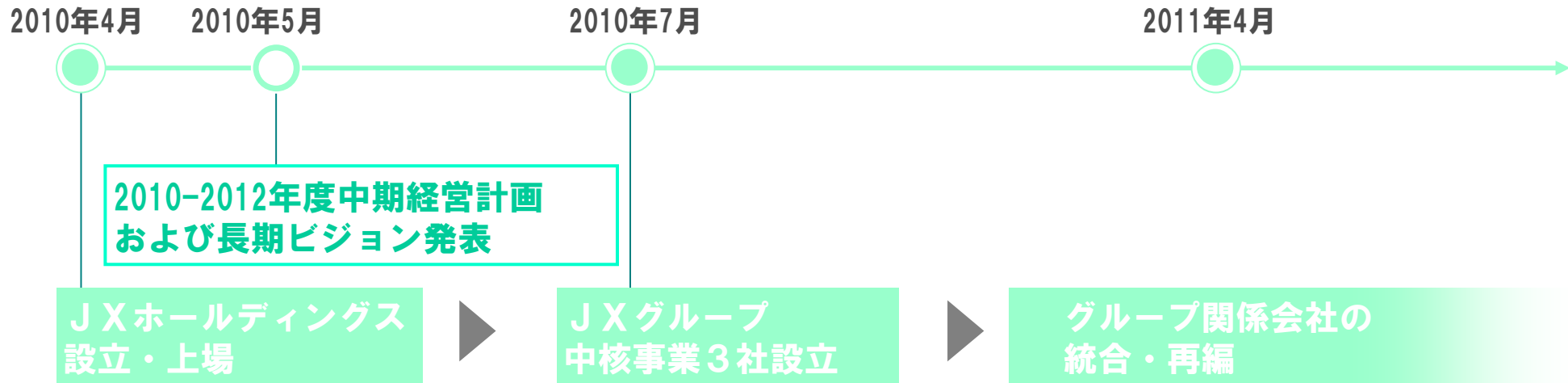
2011年11月



エネルギー・資源・素材の<sup>みらい</sup>Xを。

JXホールディングス株式会社

# JXグループ誕生以降の動き





## JX JXホールディングス

### 石油精製販売

#### JX日鉱日石エネルギー

\*1  
国内白油販売シェア  
**37%** (国内1位)

パラキレン供給能力  
**262**万トン/年 (アジア1位)



### 石油開発

#### JX日鉱日石開発

原油・天然ガス生産量  
(プロジェクトカンパニーベース)  
**約14**万バレル/日\*2

原油からLNG、オイルサントまで  
世界各地で事業を展開



### 金属

#### JX日鉱日石金属

電気鋼生産能力  
**117**万トン/年\*3

鉱山生産量 (権益ベース精鉱中銅量)  
**約10**万トン/年

電材加工: 世界シェア1位の製品群



### 上場子会社

NIPPO  
東邦チタニウム

### 共通機能会社

### 個別事業会社

\*1 ガソリン、灯油、軽油、A重油

\*2 原油換算 (2010年1-12月平均)

\*3 パンパシフィック・銅 (PPC: JX日鉱日石金属66%出資) 61万トン/年とLS-ニッコー・銅 (JX日鉱日石金属39.9%出資) 56万トン/年の合計値



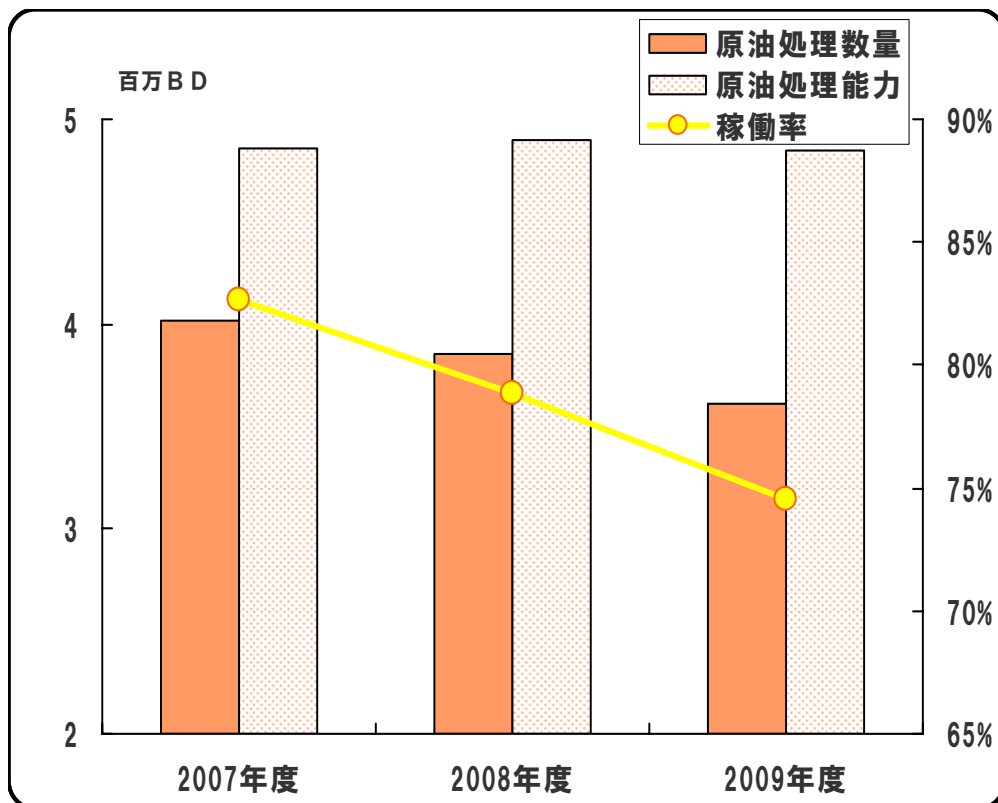
# 精製能力の削減



内需減退に先んじ、国内トップの競争力を有する製油所体制構築へ

## 日本全体の原油処理能力と処理実績

【JX誕生前】



Copyright © 2011 JX Holdings, Inc.

出典: 石油連盟

## JXの精製能力削減計画

STEP	期限	削減能力	実行
STEP1	～2011年3月末	▲40万BD	<input checked="" type="checkbox"/> 2010年10月末
STEP2	～2014年3月末	▲20万BD	<input type="checkbox"/>

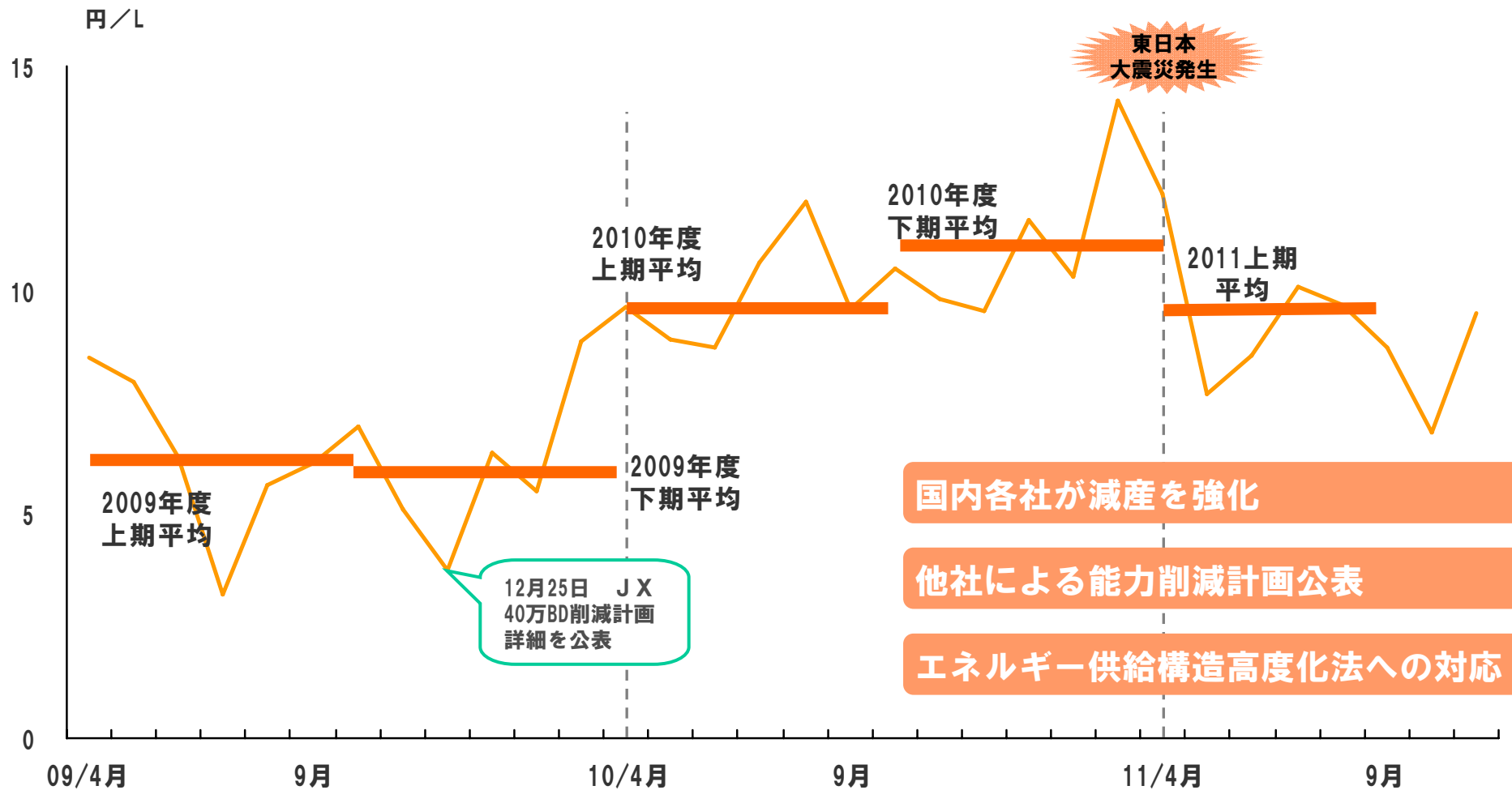
## 他社の精製能力削減計画

会社	時期	削減能力	実行
富士石油	2010年10月	▲5.2万BD	<input checked="" type="checkbox"/>
昭和シェル	2011年9月	▲12.0万BD	<input checked="" type="checkbox"/>
出光興産	2014年3月	▲12.0万BD	<input type="checkbox"/>

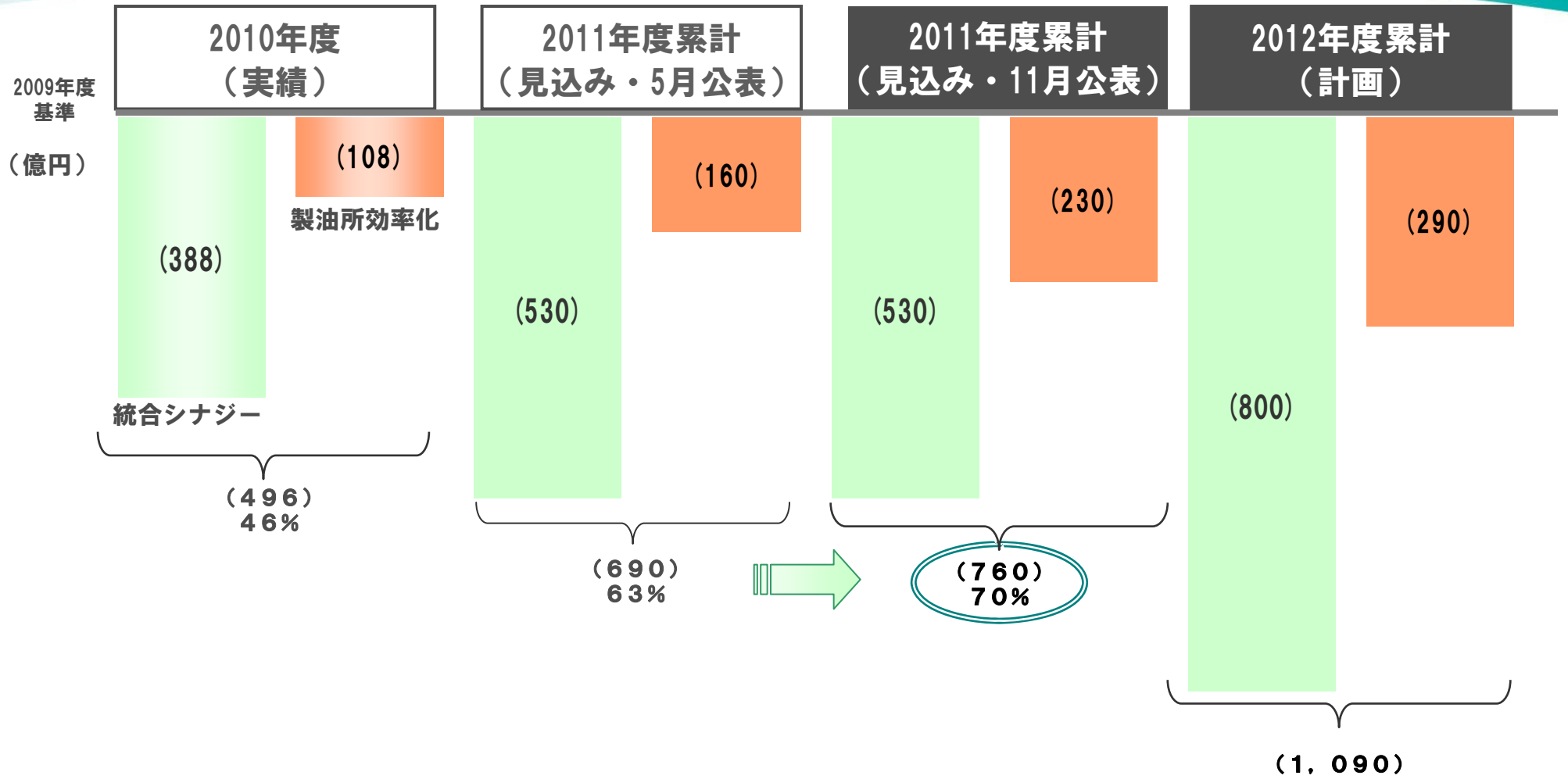
エネルギー供給構造高度化法への対応も  
(2014年3月が期限)

# 石油製品市況

## 白油（ガソリン・灯油・軽油・A重油）スプレッド\*推移

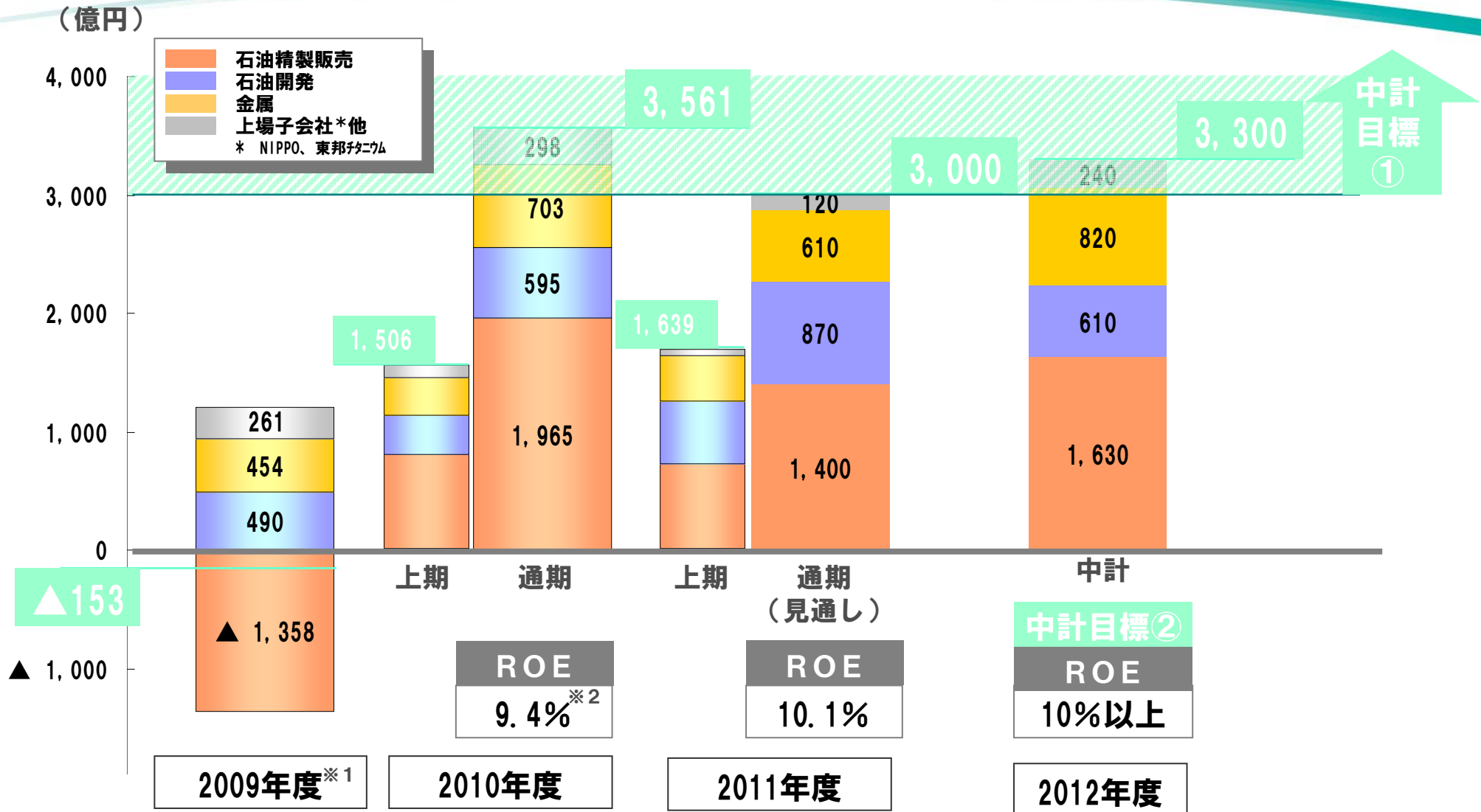


# 統合シナジー・製油所効率化の進捗





# 実質経常利益の推移





# 韓国SKグループとのパラキシレン（PX）合併プロジェクト



## プロジェクト概要

所在地： 韓国ウルサン広域市

生産能力： 年間約100万トン

商業生産： 2014年開始予定

総投資額： 約1兆ウォン  
(約800億円)

出資比率：

JX日鉱日石エネルギー	50%	-1株
SKグローバルケミカル	50%	+1株

世界最大級

## アジアのポリエステル需要見通し (PX換算)



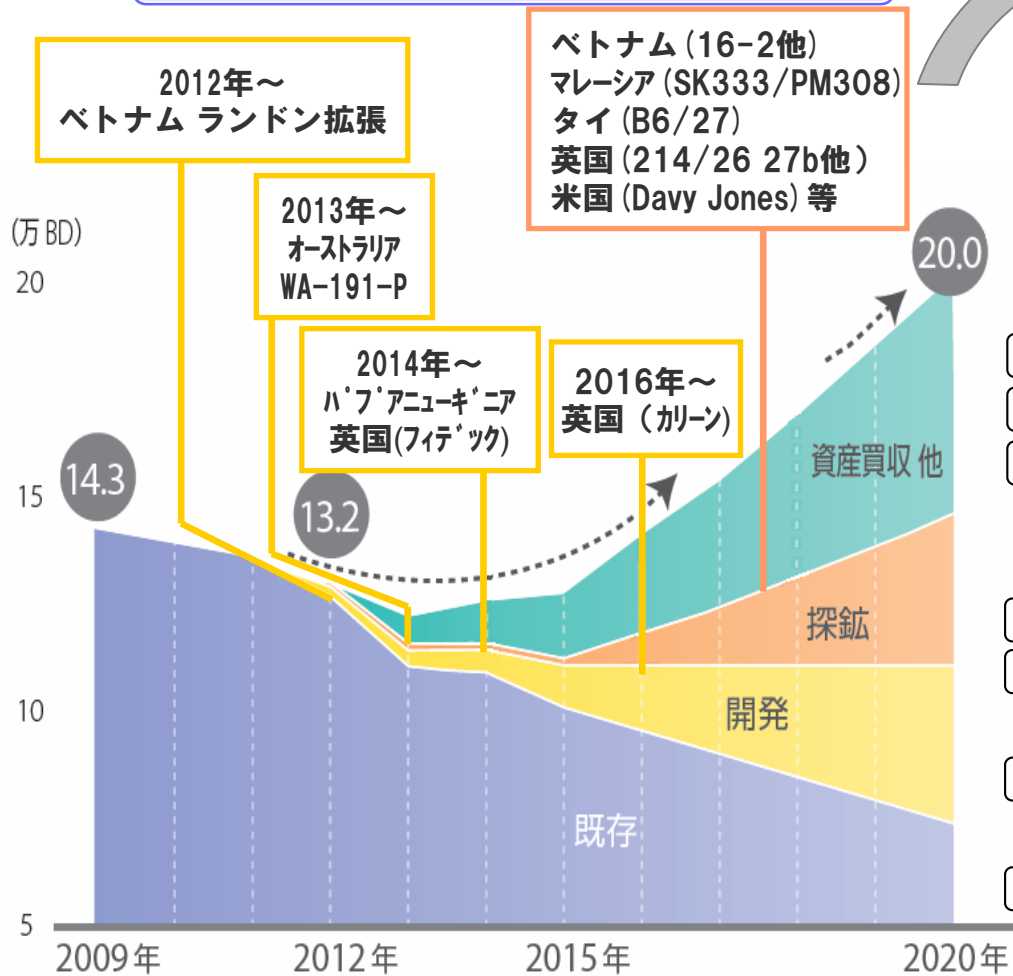
## 世界のPXプラント規模

順位	国	プラント名	能力 (万t/年)
1位	中国	ウムチ石化	100万t/年
2位	韓国	S-Oil	90万t/年
3位	中国	CNOOC	84万t/年
4位	クウェート	KARO	82万t/年
5位	オマーン	Oman Oil	79万t/年

\* 当社作成

# 探鉱段階からの参画による石油開発事業拡大

## 生産数量推移



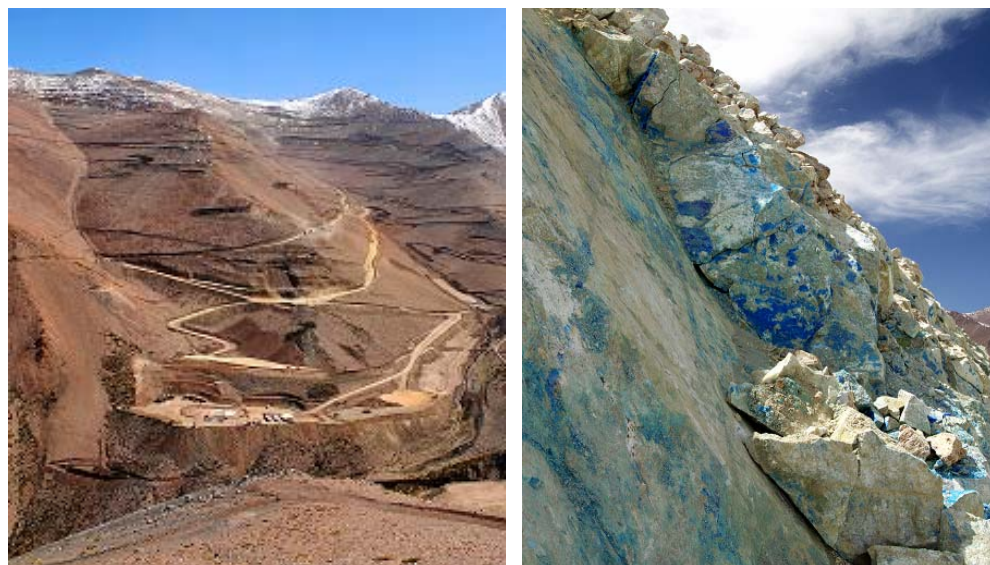
## 最近の動向

国名 (鉱区名)	種類	新規鉱区の取得	油・ガス層の発見	広がりガス層の確認	生産中油田の権利更新
2010年10月	英国 (新規)	●			
2011年1月	ベトナム (16-2)		●		
2011年2月	UAE (新規+更新)	●			●
	米国 (Davy Jones)			●	
	ベトナム (05-1b)		●		
2011年3月	英国 (カリオン)			●	
2011年4月	オーストラリア (WA-290-P)		●		
	ハフ・アニューキニア (PPL219)		●		
2011年5月	カタール (新規)	●			
	オーストラリア (WA-191-P)		●		
2011年7月	ベトナム (101-100/04)	●			

# 海外銅鉱山開発プロジェクトの推進（自山鉱比率向上）



## カセロネス銅鉱山（チリ）



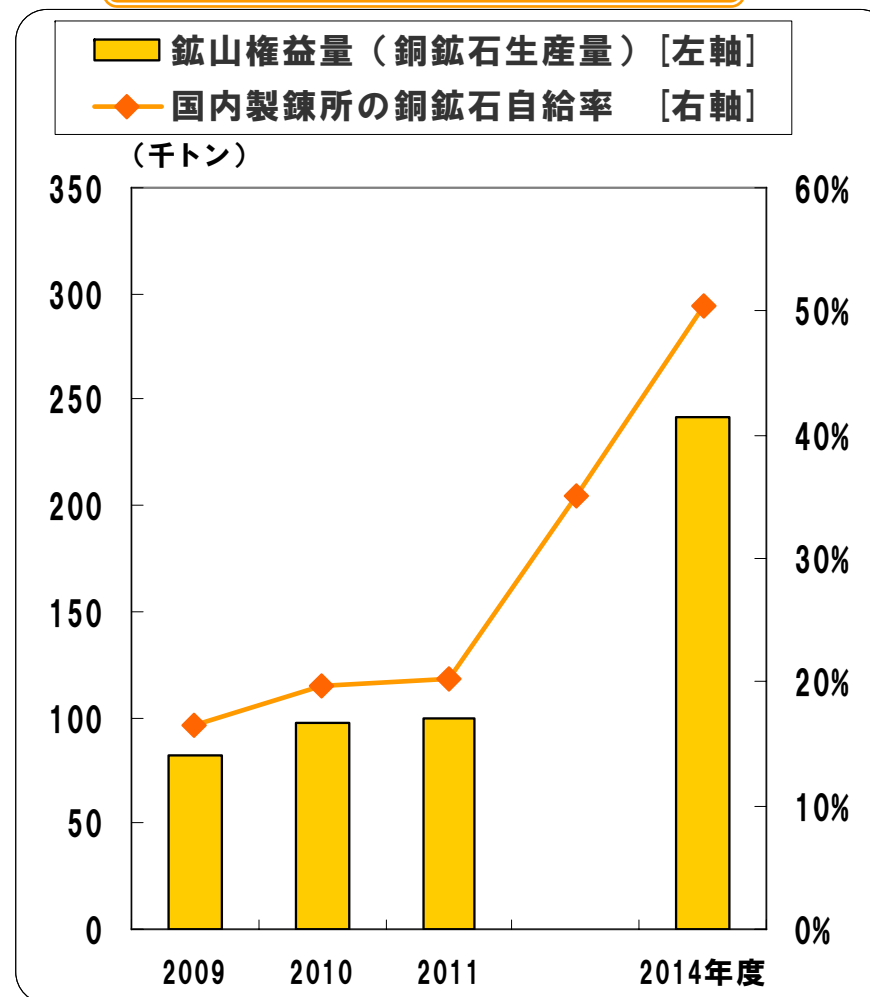
■生産期間 2013～2040年（28年間）

■生産量 28年間合計：355万トン（銅量）

年産約18万トン（当初10年間）

■権益比率  
 パンパシフィック・カッパー 75%  
 （JX日鉱日石金属66%、三井金属34%）  
 三井物産 25%

## 自山鉱比率推移



被災施設の復興は、計画より前倒しで進捗

災害対応力を強化

復興支出は圧縮（1,700→1,400億円）



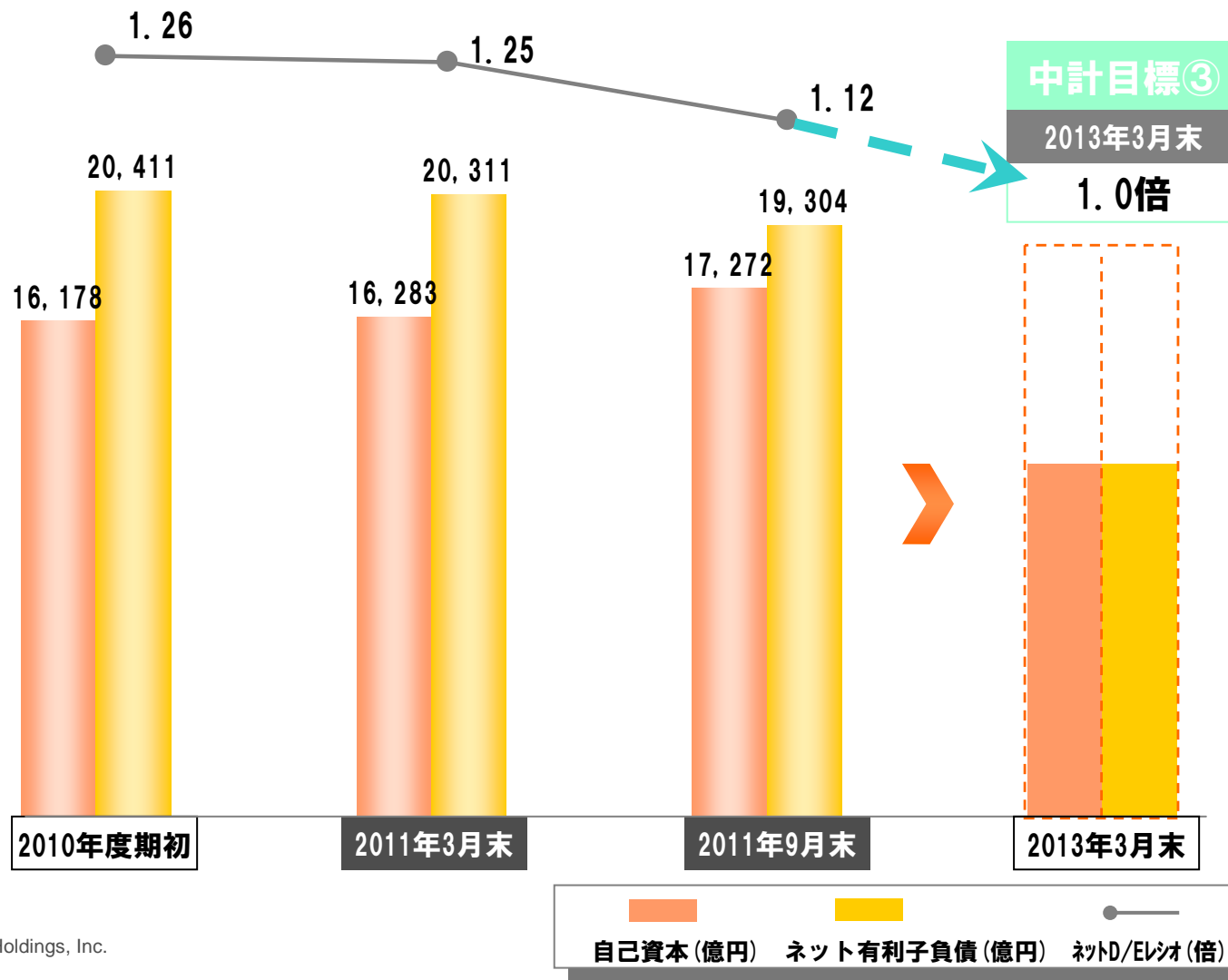
鹿島製油所：復旧した棧橋に入港した原油タンカー



仙台製油所：建設が進む陸上出荷設備

# 財務指標

## 成長投資と財務体質改善をバランスさせる





## 配当に関する基本方針

連結業績を反映した利益還元の実施を基本としながら、  
安定的な配当の継続に努めてゆく。

## 2011年度配当金

## 1株当たりの配当金

第2四半期末	期末（見通し）	年間（見通し）
8.0 円	8.0 円	16.0 円
（前期比+0.5円）		（前期比+0.5円）

## 将来見通しに関する注意事項

本資料には、将来見通しに関する記述が含まれていますが、実際の結果は、様々な要因により、これらの記述と大きく異なる可能性があります。かかる要因としては、

- (1) マクロ経済の状況またはエネルギー・資源・素材業界における競争環境の変化
  - (2) 法律の改正や規制の強化、
  - (3) 訴訟等のリスク など
- が含まれますが、これらに限定されるものではありません。